# 公益財団法人鹿島学術振興財団
# 2022 年度 事業報告書
# 第 12 期
# 自 2022 年 4 月 1 日
# 至 2023 年 3 月 31 日

## Ⅰ．事業の状況

当財団は、我が国の学術及び文化の発展に寄与することを目的として、1976（昭和 51)年 4 月に設立された。以来、学術の研究に対する助成・援助（研究助成、研究者交流援助、国際学術交流援助）を行ってきている。

本年度は、助成事業の安定的な運営を図るため、株式配当金及び寄附金等の収入により事業資金を確保し、2022 年度事業計画に従って、2022 年度助成･援助の実施とともに、2023 年度助成･援助対象研究の募集･採択等を行った（詳細は、「Ⅵ. 2023 年度助成一覧」のとおり）。

### １．助成事業（2023 年度助成･援助 採択）

2023 年度の助成・援助については、2022 年 7 月 1 日から 11 月 20 日の申請期間締め切り後、2 度の選考委員会幹事会の開催、選考委員による審査、本年 2 月 16 日開催の選考委員会を通して慎重かつ厳正な選考を行い、本年 3 月 9 日開催の理事会での審議を経て、以下のとおり決定した。

(1) 研究助成　　件数　41 件 金額　7,315 万円

① 一般研究助成（推薦）　（件数　39 件　金額　5,565 万円）

主な助成対象研究分野は、都市・居住環境の向上、国土・資源の有効利用、防災危機管理の推進、文化・自然環境の保全等、更にこれらに関連する社会システム、情報技術等先端技術に関するもの等としている。

推薦機関に推薦を依頼し提出された 40 件の新規申請に対し、18 件、2,630 万円の助成を決定した。

また、継続申請 21 件については、中間報告書兼継続申請書等の審査を経て、全 21 件、2,935 万円の助成を決定した。

② 特定テーマ研究助成（公募）（件数　2 件　金額　1,750 万円）

財団事業目的に即して設定された本年度特定テーマに関する分野横断・融合研究を公募し提出された新規申請 13 件に対し、2 件、1,750 万円の助成を決定した。

(2) 研究者交流援助（推薦）　件数　7 件 金額　2,210 万円

主な援助対象研究分野は上記「一般研究助成」と同一。

推薦機関に推薦を依頼し提出された申請 20 件に対し、海外派遣 5 件及び外国人研究者招へい・受入れ 2 件、計 7 件、2,210 万円の援助を決定した。

(3) 国際学術交流援助　件数 31 件　金額 6,215 万円

① 国際共同研究援助（公募）　（件数 11 件　金額 5,215 万円）

主な援助対象研究分野は上記「一般研究助成」と同一。

我が国と海外の大学等研究機関の研究者から成る研究グループからの公募により提出された新規申請 18 件に対し、5 件、2,725 万円の援助を決定した。

また、継続申請 6 件については、中間報告書兼継続申請書等の審査を経て、全 6 件、2,490 万円の援助を決定した。

② 国際研究集会援助（公募）　（件数 20 件　金額 1,000 万円）

学術的専門家等の参加する国際会議を対象として公募し、開催代表者から提出された 29 件の申請に対し、20 件、1,000 万円の援助を決定した。

**１．計　(1)＋(2)＋(3)　件数 79 件　金額 1 億 5,740 万円**

２．2021,2022 年度援助再申請 採択

2021,2022 年度援助のうち新型コロナウィルス感染症の影響により実施できなかった 8 件の援助の再申請について、全 8 件の援助を決定した。

| | | | |
|---|---|---|---|
| ① 研究者交流援助 | 件数　1 件 | 金額 | 183 万円 |
| ② 国際学術交流援助 | | | |
| 国際研究集会援助 | 件数　7 件 | 金額 | 350 万円 |

**２．計　件数　8 件　金額　533 万円**

**１＋２．合計　件数 87 件　金額 1 億 6,273 万円**

Ⅱ．その他の活動

１．第 45 回　研究発表会の開催

日　　時　2022 年 11 月 11 日（金）午後 2 時 00 分～4 時 50 分

会　　場　鹿島ＫＩビル　地下大会議室

参加者数　162 名（会場参加 40 名、Web 参加 122 名）

発表テーマ及び発表者

１．社会的養護・障害者分野の社会福祉施設の建築計画に関する史的研究
大阪大学大学院 工学研究科 准教授 松原 茂樹

２．開口部を有する堰が河床変動および流れに与える影響
熊本大学大学院 先端科学研究部 特任教授(名誉教授) 大本 照憲

３．スロー地震の発見とその意義～巨大地震との関連性の観点から～
東京大学 地震研究所 教授 小原 一成

４．古代ローマ都市オスティア全域の三次元デジタル化の完成
九州大学大学院 人間環境学研究院 教授 堀 賀貴

２．2023 年度 助成金贈呈式の開催

日　　時　2023 年 3 月 22 日（水）午後 3 時 30 分～4 時 30 分
会　　場　鹿島ＫＩビル　地下大会議室
出 席 者　助成金受領者及び財団関係者等　55 名

３．第 46 回　2021 年度年報の発行

発行部数　400 冊
発 行 日　2022 年 10 月 31 日
配 布 先　財団役員等・推薦大学・推薦学会・掲載助成者・関係他財団
内　　容　2021 年度事業報告、2021 年度新規採択申請書、事業援助による成果報告、研究発表会、2021 年度主要業務報告・会計報告、2022 年度事業計画他

Ⅲ．会議の実績

１．理事会

①第 39 回理事会

日　　時　2022 年 5 月 11 日(水) 午後 3 時～3 時 30 分
会　　場　鹿島ＫＩビル　中会議室
決議事項　第 1 号議案 「2021 年度事業報告及び決算の内容報告」の件
第 2 号議案 「第 15 回定時評議員会の招集」の件
第 3 号議案 「次期選考委員の選任」の件
報告事項　業務執行状況の報告（2022 年 3 月 11 日～5 月 10 日）

②第 40 回理事会（決議の省略による）

提 案 日　　2022 年 6 月　9 日（木）
みなし会議日 2022 年 6 月 15 日（水）
提案事項　1「代表理事（専務理事）選定」の件
2「株式に係る議決権の行使」の件

③第 41 回定時理事会

日　　時　2023 年 3 月 9 日(木) 午後 3 時～3 時 40 分
会　　場　鹿島ＫＩビル　中会議室

決議事項　第 1 号議案「2023 年度 事業計画書の承認」の件
第 2 号議案「2023 年度 収支予算書の承認」の件
第 3 号議案「2023 年度 研究助成等の承認」の件
第 4 号議案「選考委員会規程の改正」の件
第 5 号議案「個人情報保護基本方針 及び
個人情報管理規程の改正」の件
第 6 号議案「助成金贈呈式の開催」の件
報告事項　業務執行状況の報告（2022 年 5 月 11 日～2023 年 3 月 8 日）

２．評議員会

①第 15 回定時評議員会

日　　時　2022 年 6 月 8 日（水）午前 11 時 30 分～12 時
会　　場　鹿島ＫＩビル　中会議室
決議事項　第 1 号議案　「議長選出」の件
第 2 号議案　「議事録署名人選出」の件
第 3 号議案　「2021 年度 計算書類等の承認」の件
第 4 号議案　「理事 2 名選任」の件
第 5 号議案　「評議員 1 名選任」の件
報告事項　報告事項 1　「2021 年度 事業報告及び決算の内容報告」の件
報告事項 2　「2022 年度 事業計画書及び収支予算書についての
報告」の件

３．選考委員会

①第 12 回 研究発表会に係る選考委員会幹事会

日　　時　2022 年 6 月 2 日（木）午前 10 時 30 分～12 時
会　　場　鹿島ＫＩビル　212 ゲストルーム
議　　題　第 45 回研究発表会発表候補者の選考について（審議）他

②第 92 回 選考委員会幹事会

日　　時　2022 年 12 月 20 日（火）午前 10 時 30 分～12 時
会　　場　鹿島ＫＩビル　212 ゲストルーム
議　　題

・2023 年度 研究助成 審査方法・審査担当選考委員の決定について（審議）
・2023 年度 国際共同研究援助 審査方法・審査担当選考委員の決定について
（審議）

・2023 年度 研究者交流援助 採択候補の推薦・審査方法について　（審議）
・2023 年度 国際研究集会援助 受付結果について　（審議）
・新型コロナ禍による 2021･2022 年度助成・援助対応について　（審議）

③第 93 回 選考委員会幹事会

日　　時　2023 年 2 月 6 日（月）午後 5 時～7 時
会　　場　鹿島ＫＩビル　212 ゲストルーム
議　　題
・2023 年度 一般研究助成 採択候補案の選定について　（審議）
・2023 年度 特定テーマ研究助成 採択候補案の選定について　（審議）
・2023 年度 国際共同研究援助 採択候補案の選定について　（審議）
・2023 年度 研究者交流援助 採択候補案の選定について　（審議）
・2023 年度 国際研究集会 採択候補案について　（審議）
・2023 年度 助成・援助再申請について　（審議）

④第 88 回 選考委員会

日　　時　2023 年 2 月 16 日（木）午後 5 時～6 時 30 分
会　　場　鹿島ＫＩビル　212 ゲストルーム
議　　題
・2023 年度 一般研究助成 採択候補案について　（審議）
・2023 年度 特定テーマ研究助成 採択候補案について　（審議）
・2023 年度 国際共同研究援助 採択候補案について　（審議）
・2023 年度 研究者交流援助 採択候補案について　（審議）
・2023 年度 国際研究集会援助 採択候補案について　（審議）
・新型コロナ禍による助成・援助再申請について　（審議）

４．アドバイザリー会議

①第 3 回 アドバイザリー会議

日　　時 2022 年 12 月 7 日（水）午後 4 時～6 時
会　　場 鹿島ＫＩビル　213 ゲストルーム
議　　題 今年度申請結果報告
審査方針（案）
今年度申請の評価及び選考委員に対する意見書等の検討 他

②第 4 回 アドバイザリー会議

日　　時 2023 年 1 月 12 日（木）午後 4 時 30 分～6 時
会　　場 鹿島ＫＩビル　ラウンジ
議　　題 2023 年度特定テーマ研究助成申請評価について（審議）他

## Ⅳ．庶務

### １．　役員の異動

理事の異動

逝去　2022 年 4 月 13 日　佐藤　孝安

新任　2022 年 6 月　8 日　春田　浩司（同日、評議員辞任）

〃　2022 年 6 月　8 日　小泉　博義

［選任］2022 年 6 月 8 日（第 15 回定時評議員会）

［任期］2023 年 6 月に開催される定時評議員会の終結のときまで。
増員により選任された理事の任期は現任者の満了する時までとする。
ただし、再任を妨げない。

代表理事(専務理事)の異動

辞任　2022 年 6 月 30 日　岡本　章

新任　2022 年 7 月　1 日　小泉　博義

［選定］2022 年 6 月 15 日（第 40 回臨時理事会/決議の省略）

### ２．評議員の異動

辞任　2022 年 6 月 8 日　春田　浩司（同日、理事に就任）

新任　2022 年 7 月 1 日　岡本　章　（6 月 30 日、理事を辞任）

### ３．選考委員の異動

逝去：2022 年 4 月 6 日　大橋　欣治（選考委員会幹事）

退任：任期満了 2022 年 8 月 10 日（1 名）

金多　潔　京都大学名誉教授

任期満了にともなう選考委員の重任（13 名）

重任　藤野　陽三
重任　石谷　久
重任　伊藤　滋
重任　岩井　克人
重任　岡村　甫
重任　五十殿侑弘
重任　鎌田　元康
重任　茅　陽一
重任　香山　壽夫
重任　高階　秀爾
重任　龍岡　文夫
重任　能見　善久
重任　廣瀬　通孝

新任（2 名）

新任　　松村　秀一　東京大学大学院工学系研究科建築学専攻 特任教授

新任　　丹下　健　　東京大学大学院農学生命科学研究科 教授/副学長

［選任］2022 年 5 月 11 日（第 39 回定時理事会）
［任期］2022 年 8 月 11 日から 2024 年 8 月 10 日まで

４．職員の異動

新任　2022 年　9 月 15 日　坪井　朱美　（事務主任）

退任　2022 年 11 月 30 日　伊藤　美和子（担当主任）

５．監事監査の実施
2022 年 4 月 20 日(水)
秋山監事、駿田監事による 2021 年度決算に係る監事監査の実施

Ⅴ．行政庁への届出等

１．内閣府への届出（電子申請）

・2022 年 6 月 29 日　事業報告（2021 年度 定期提出書類）
・2022 年 6 月 29 日　変更の届出（理事・評議員の変更届）
・2023 年 3 月 27 日　2023 年度事業計画書及び収支予算書（定期提出書類）の届出

２．登記に関する事項（法務省東京法務局港出張所）

・2022 年 4 月 25 日　変更登記
理　事　　佐藤孝安（逝去）

・2022 年 7 月 1 日　変更登記
代表理事　　小泉博義（就任）
理　事　　小泉博義（就任）
評議員　　春田浩司（辞任）
理　事　　春田浩司（就任）
代表理事　　岡本　章（退任）
理　事　　岡本　章（辞任）
評議員　　岡本　章（就任）

以　上

## Ⅵ．2023年度　助成一覧

### １．2023年度助成・援助　採択

**【研究助成】**

（1）一般研究助成

| | | （申請） | 採択 | 助成金額 |
|---|---|---|---|---|
| 新　規 | 自然科学 | （23件） | 11件 | 1,680万円 |
| | 人文・社会科学 | （17件） | 7件 | 950万円 |
| | 小計 | （40件） | 18件 | 2,630万円 |
| 継　続 | 自然科学 | （13件） | 13件 | 1,730万円 |
| | 人文・社会科学 | （8件） | 8件 | 1,205万円 |
| | 小計 | （21件） | 21件 | 2,935万円 |
| | （1）計 | （61件） | 39件 | 5,565万円 |
| | | | 【計画額 | 6,000万円】 |

（2）特定テーマ研究助成（今年度から実施）

| | | （申請） | 採択 | 援助金額 |
|---|---|---|---|---|
| 新　規 | | （13件） | 2件 | 1,750万円 |
| | （2）計 | （13件） | 2件 | 1,750万円 |
| | | | 【計画額 | 2,000万円】 |

**【研究者交流援助】**

（3）研究者交流援助

| | | （申請） | 採択 | 援助金額 |
|---|---|---|---|---|
| 派遣 | 短期 | （2件） | 0件 | 0万円 |
| | 長期 | （11件） | 5件 | 1,900万円 |
| 招へい | 短期 | （3件） | 1件 | 150万円 |
| 受入れ | 長期 | （4件） | 1件 | 160万円 |
| | （3）計 | （20件） | 7件 | 2,210万円 |
| | | | 【計画額 | 1,600万円】 |

**【国際交流援助】**

（4）国際共同研究援助

| | | （申請） | 採択 | 援助金額 |
|---|---|---|---|---|
| 新　規 | | （18件） | 5件 | 2,725万円 |
| 継　続 | | （6件） | 6件 | 2,490万円 |
| | （4）計 | （24件） | 11件 | 5,215万円 |
| | | | 【計画額 | 5,400万円】 |

(5) 国際研究集会援助

| | | (申請) | 採択 | 援助金額 |
|---|---|---|---|---|
| | | (29件) | 20件 | 1,000万円 |
| | (5) 計 | (29件) | 20件 | 1,000万円 |
| | | | 【計画額 | 1,000万円】 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| １．2023年度採択合計 | (1)＋(2)＋(3)＋(4)+(5) | 79件 | 15,740万円 |
| | | 【計画額総額 | 1億6,000万円】 |

２．2021年度・2022年度　再申請　採択

(6) 研究者交流援助

| | | (申請) | 採択 | 援助金額 |
|---|---|---|---|---|
| 2022年度 | 招へい | (1件) | 1件 | 183万円 |
| | (6) 計 | (1件) | 1件 | 183万円 |

(7) 国際研究集会援助

| | | (申請) | 採択 | 援助金額 |
|---|---|---|---|---|
| 2021年度 | | (5件) | 5件 | 250万円 |
| 2022年度 | | (2件) | 2件 | 100万円 |
| | (7) 計 | (7件) | 7件 | 350万円 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| ２．再申請採択 合計 | (6)＋(7) | 8件 | 533万円 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 採択総計 | １＋２ | 87件 | 1億6,273万円 |

## (1) 2023年度 一般研究助成 採択者及び助成金額一覧

### 1．新　規

| No. | 推薦組織・機　関 | 氏　名 | 所属機関・職名 | 研　究　課　題 | 助成金額（万円） |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 日本建築学会 | ナカジマシロウ 中島史郎 | 宇都宮大学 地域デザイン科学部 教授 （木質構造） | 水分の変動によりCLTに生じる変形がCLT接合部の耐力・剛性・靭性に及ぼす影響の評価 | 180 |
| 2 | 日本建築学会 | ヒラヤマイクオ 平山育男 | 長岡造形大学 造形学部 教授 （建築史） | 近世末期から近代における建築材料としての硝子の普及 | 130 |
| 3 | 土木学会 | ヨシダヒデノリ 吉田秀典 | 香川大学 創造工学部 教授 （環境科学） | 廃棄物の減容を目途とした木質灰・焼却灰の無害化と再資源化に関する研究 | 180 |
| 4 | 土木学会 | ヤマモトケンタロウ 山本健太郎 | 大分大学 減災・復興デザイン教育研究センター 准教授 （地盤工学） | 斜面崩壊危険斜面における降雨浸透のリアルタイムモニタリングと崩壊度予測に適した降雨指標の提案 | 115 |
| 5 | 地盤工学会 | ワンハイロン 王海龍 | 早稲田大学 理工学術院 准教授 （地盤工学） | ベントナイトの間隙水密度に対する実験方法の確立とデータベースの構築 | 130 |
| 6 | 地盤工学会 | セイキ タカフミ 清木隆文 | 宇都宮大学 地域デザイン科学部 准教授 （岩盤工学） | 気候変動を見据えた地盤災害マルチハザードの研究 | 100 |
| 7 | 日本海洋学会 | シマダヨウイチ 嶋田陽一 | 水産大学校 海洋生産管理学科 助教 （海洋学） | 漂流ブイ観測による東シナ海南部から南西諸島への海洋ゴミ移動過程の解明 | 180 |
| 8 | 日本火災学会 | ミズノ マサユキ 水野雅之 | 東京理科大学 理工学研究科 准教授 （建築火災安全工学） | 地下街火災のVR 避難シミュレーターを用いたデジタルサイネージによる避難誘導効果の分析 | 170 |
| 9 | 日本都市計画学会 | ベッショ 別所あかね | 東京大学 大学院工学系研究科 助教 （包摂都市計画） | 包摂都市の形成に向けた知的障がい・精神障がい者の自己成長を促すコミュニティ・ガーデンの運営・空間的特徴の解明 | 170 |
| 10 | 日本水環境学会 | タナカシュウヘイ 田中周平 | 京都大学 地球環境学堂 准教授 （環境工学） | 日本各地の湿地・沿岸域における極微小マイクロプラスチック汚染の現況調査 | 190 |

| No. | 推薦組織・機　関 | 氏　名 | 所属機関・職名 | 研　究　課　題 | 助成金額（万円） |
|---|---|---|---|---|---|
| 11 | 日本水環境学会 | ハルタシンスケ<br>治多伸介 | 愛　媛　大　学<br>大学院農学研究科<br>教　　授<br>（水環境再生科学） | 窒素負荷軽減を実現するサトウキビ営農栽培管理手法の構築 | 135 |
| 12 | 北海道大学 | ハシモト　ツトム<br>橋本　努 | 北 海 道 大 学<br>大学院経済学研究院<br>教　　授<br>（政治哲学） | 日本の地方自治体において環境およびその他のウェルビイング諸指標を政策に生かす方法についての研究 | 135 |
| 13 | 筑波大学 | アリタトモカズ<br>有田智一 | 筑　波　大　学<br>システム情報系<br>教　　授<br>（都市計画） | 公的不動産の有効活用実現のための公民連携促進策とアセットマネジメント戦略のあり方 | 130 |
| 14 | 東京大学 | カネザキユウコ<br>金崎由布子 | 東　京　大　学<br>総合研究博物館<br>助　　教<br>（アンデス考古学） | ペルー、モンソン川流域における熱帯林の長期開発プロセスと自然環境への影響：考古学・古気候学の学際的アプローチから | 170 |
| 15 | 東京大学 | ニワ　タイチ<br>丹羽太一 | 東　京　大　学<br>大学院経済学研究科<br>特 任 研 究 員<br>（建築学） | 社会的共通資本としてのインクルーシブな住環境の構築 | 130 |
| 16 | 東京大学 | ハコイシ　ヒロシ<br>箱石　大 | 東　京　大　学<br>史 料 編 纂 所<br>教　　授<br>（日本史学） | 明治太政官政府主要人物文書群の保存・利活用に資する研究基盤の構築 | 120 |
| 17 | 名古屋大学 | ヨコヤマ　サトシ<br>横山　智 | 名 古 屋 大 学<br>環 境 学 研 究 科<br>教　　授<br>（地理学） | 中国およびラオスにおける少数民族の再定住事業：集落の空間変容がいかに民族文化を変化させるか | 135 |
| 18 | 早稲田大学 | ジョウクラマサヨシ<br>城倉正祥 | 早 稲 田 大 学<br>文 学 学 術 院<br>教　　授<br>（東アジア考古学） | 列島最大級の終末期方墳・上円下方墳の造営尺と設計原理に関する考古学的研究－龍角寺岩屋・川越山王塚古墳の調査から－ | 130 |
| | | | | 一般研究助成（新規）　　計１８件 | 2,630 |

## (1) 2023年度 一般研究助成 採択者及び助成金額一覧

### 2．継　続

| No. | 推薦組織・機　関 | 氏　名 | 所属機関・職名 | 研　究　課　題 | 助成金額（万円） |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 日本建築学会 | クルミサワキヨフミ<br>胡桃澤清文 | 北海道大学大学院<br>工学研究院<br>准教授<br>（建築材料） | 水分状態に基づく混合セメントコンクリートの凍害劣化予測モデルの構築 | 120 |
| 2 | 日本建築学会 | サトウ　ジュン<br>佐藤　淳 | 東京大学大学院<br>新領域創成科学研究科<br>准教授<br>（建築構造） | グリーンハウス等に適用できるひし形モジュールを交互配置した張弦構造の開発 | 130 |
| 3 | 日本建築学会 | ソエダカズヤ<br>副田和哉 | 第一工科大学<br>工学部<br>助教<br>（建築デザイン） | 全周パノラマ画像を用いた視覚情報の変化のAI活用型定量分析手法の提案とその検証 | 130 |
| 4 | 日本建築学会 | フクヤマトモコ<br>福山智子 | 立命館大学<br>理工学部<br>准教授<br>（建築材料） | 建設用3Dプリンタ施工における積層間付着の改善に向けた材料・工法・システムの開発 | 150 |
| 5 | 空気調和・衛生工学会 | タケウチジンヤ<br>竹内仁哉 | 秋田県立大学<br>システム科学技術学部<br>助教<br>（建築環境工学） | 動的定常濃度に基づくトレーサガス実験法を用いた現場測定法の提案 | 145 |
| 6 | 地盤工学会 | ハラ　ヒロユキ<br>原　弘行 | 山口大学大学院<br>創成科学研究科<br>准教授<br>（地盤工学） | 耐海水性を付与する地盤改良用固化材の試作開発 | 120 |
| 7 | 地盤工学会 | ノムラ　シュン<br>野村　瞬 | 東京海洋大学<br>学術研究院<br>准教授<br>（地盤工学） | 革新的地盤透明化技術に基づく海洋基礎杭施工最適化への挑戦 | 155 |
| 8 | 日本火災学会 | ホウキ　バラトモヨ<br>伯耆原智世 | 早稲田大学<br>創造理工学部<br>専任講師<br>（建築防災） | 木質耐火構造部材の高度化と断面制御の両立性の研究 | 160 |
| 9 | 日本火災学会 | サイトウヒロヤス<br>斎藤寛泰 | 芝浦工業大学<br>工学部<br>教授<br>（燃焼工学） | 爆発現象により生成した高粘度流体粒子群による火災消火法の検討 | 115 |
| 10 | 日本機械学会 | ウエミチ　アカネ<br>上道　茜 | 早稲田大学<br>理工学術院<br>准教授<br>（エネルギーシステムメカニクス） | デジタルツインを活用した非常時の病院がエネルギー確保する実用的な方法の提案 | 120 |

| No. | 推薦組織・機　関 | 氏　名 | 所属機関・職名 | 研　究　課　題 | 助成金額（万円） |
|---|---|---|---|---|---|
| 11 | 日本機械学会 | リ　グンホ<br>李 根浩 | 宮崎大学<br>工学部<br>准教授<br>（ロボティクス） | 社会インフラの自動検査を目標とした、打撃装置による規則的な打音信号の位相差に基づく「幾何学的な欠陥方向推定モデル」の創出 | 170 |
| 12 | 日本水環境学会 | スズキモトハル<br>鈴木元治 | 兵庫県環境研究センター<br>水環境科<br>主任研究員<br>（水環境工学） | 水環境中の有機物の分解特性評価のための新たな手法の開発とその検証 | 100 |
| 13 | 日本建築学会 | イマモトケイイチ<br>今本啓一 | 東京理科大学<br>工学部<br>教授<br>（建築材料） | 今帰仁公民館での実証実験を通した塩害RC造建築物の延命化技術の社会実装に向けた研究 | 115 |
| 14 | 東北大学 | タケダ　コウタロウ<br>武田浩太郎 | 東北大学大学院<br>工学研究科<br>講師／ＵＲＡ<br>（研究企画） | 計量書誌学と自然言語処理に基づくレジリエンスのコンテクストの国際比較研究―日本発レジリエンス×アントレプレナーシップ教育の海外展開に向けて― | 220 |
| 15 | 筑波大学 | ムラタコウジ<br>村田光司 | 筑波大学<br>図書館情報メディア系<br>助教<br>（歴史学） | 三次元アーカイブズの構築によるギリシャ・ラコニア地域聖堂群の研究資源化と社会的機能の解明に向けた多分野協働型研究 | 120 |
| 16 | 東京大学 | オカ　ミホコ<br>岡美穂子 | 東京大学<br>史料編纂所<br>准教授<br>（歴史学） | 「南蛮貿易」で結ぶモノのデジタル・マップ構築と地域史研究支援　―社会への還元の取り組みとして― | 130 |
| 17 | 東京大学 | キクチ　ヒロキ<br>菊地大樹 | 東京大学<br>史料編纂所<br>教授<br>（日本中世史） | 山川草木思想の展開に関する歴史資料学的研究 | 165 |
| 18 | 京都大学 | トウナガ　ヤスシ<br>東長 靖 | 京都大学大学院<br>アジア・アフリカ地域研究科<br>教授<br>（イスラーム研究） | イスラームの宗教施設と都市空間との融合：モスクに集うムスリムたちの日本社会との共生 | 115 |
| 19 | 大阪大学 | マツザキマサヨ<br>松﨑政代 | 大阪大学大学院<br>医学系研究科<br>教授<br>（助産学） | 父親の母乳育児自己効力感の関連要因の検討 | 160 |
| 20 | 九州大学 | タナカ　トシノリ<br>田中俊徳 | 九州大学<br>アジア・オセアニア研究教育機構<br>准教授<br>（環境政策） | 生物多様性の保全に貢献するOECMのガバナンス構造に関する研究 | 160 |

| No. | 推薦組織・機　関 | 氏　名 | 所属機関・職名 | 研　究　課　題 | 助成金額（万円） |
|---|---|---|---|---|---|
| 21 | 早稲田大学 | タバタ ユキツグ<br>田畑幸嗣 | 早稲田大学<br>文学学術院<br>教授<br>(東南アジア考古学) | 古代カンボジアにおける建築生産体制の基礎研究：瓦生産を中心に | 135 |
| | | | | 一般研究助成（継続）　計２１件 | 2,935 |

| | | |
|---|---|---|
| 一般研究助成 | 合 計　３９件 | 5,565 |

## (2) 2023年度 特定テーマ研究助成 採択者及び助成金額一覧

### 1．新　規

| No. | テーマ番号 | 氏　名 | 所属機関・職名 | 研　究　課　題 | 助成金額（万円） |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ③想定外事象から素早く立ち直るための研究 | スズキ モトユキ<br>鈴木素之 | 山口大学<br>大学院創成科学研究科<br>教授<br>（時間防災学） | 超高齢化時代におけるシン・ウベ方式によるレジリエンスシティの創成 | 870 |
| 2 | ①豊かな地域居住環境を保つための持続的経営に向けたシナリオ構築 | タジマ ノリユキ<br>田島則行 | 千葉工業大学<br>創造工学部<br>准教授<br>（建築設計） | 建築ストックのコミュニティアセット化を支援する仕組みの提案 | 880 |
| 特定テーマ研究助成（新規）　計２件 | | | | | 1,750 |

## (3) 2023年度　研究者交流援助 採択者及び援助金額一覧

### 1．研究者海外派遣援助

| No. | 推　薦<br>組織・機関 | 氏　名<br>所属機関・職名 | 研　究　課　題 | 派遣先 | 派遣期間 | 援助金額<br>（万円） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 東京大学 | コバヤシ リサ<br>小林里瑳<br>東京大学<br>大学院工学系研究科<br>助教 | サーチ理論に基づく都市-交通モデルの相互動学的拡張と展開 | スイス<br>（スイス連邦工科大学ローザンヌ校） | 2023.06.01<br>～<br>2024.05.31<br>（366日）<br>（長期） | 395 |
| 2 | 京都大学 | ハヤシカズキ<br>林 和希<br>京都大学大学院<br>工学研究科<br>助教 | 曲線パターンを有するカーフベンディングを用いた空間構造の最適設計・施工手法の開発 | フランス<br>（エコール・ナショナル・ポン・ゼ・ショセ） | 2023.09.01<br>～<br>2024.08.26<br>（361日）<br>（長期） | 390 |
| 3 | 東京工業大学 | サワダ マイ<br>澤田茉伊<br>東京工業大学<br>環境･社会理工学院<br>准教授 | 土粒子と浸透水のミクロな解析に基づく毛管バリアシステムの構築－土を活用した人と環境の安全－ | イギリス<br>（インペリアルカレッジロンドン） | 2023.04.01<br>～<br>2024.01.13<br>（288日）<br>（長期） | 310 |
| 4 | 九州大学 | マツダカズキ<br>松田和貴<br>九州大学<br>大学院工学研究院<br>准教授 | 新接合技術を用いた既存の大型溶接構造物の強度信頼性に関する検討 | カナダ<br>（ウォータールー大学） | 2023.06.01<br>～<br>2024.05.06<br>（341日）<br>（長期） | 390 |
| 5 | 名古屋大学 | ナカムラシンイチロウ<br>中村晋一郎<br>名古屋大学<br>大学院工学研究科<br>准教授 | 水-社会-技術の相互作用メカニズムの解明と国際比較 | フランス<br>（フランス国立科学研究センター社会科学高等研究院） | 2023.04.01<br>～<br>2024.03.31<br>（366日）<br>（長期） | 415 |
| | | | | | 派遣　計 5件 | 1,900 |

２．外国人研究者招へい・受入れ援助

| No. | 申請者 推薦 組織・機関 | 申請者 氏名 所属機関・職名 | 研究課題 | 招へい研究者 氏名(国籍) 所属機関・職名 | 招へい期間 | 援助金額（万円） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 名古屋大学 | ヤマザキアツコ<br>山崎敦子<br>名古屋大学<br>大学院環境学研究科<br>講師 | サンゴモの古環境記録を用いたオホーツク海の気候変動と海氷に与える影響の解明 | ステファン<br>ヘッツィンガー<br>（ドイツ）<br>キール大学<br>研究員 | 2023.07.15<br>～<br>2023.10.12<br>（90日）<br>（長期） | 160 |
| 2 | 東京大学 | オカミホコ<br>岡美穂子<br>東京大学<br>史料編纂所<br>准教授 | 16～17世紀ユーラシア遠隔地交易投資グループの比較 | ジプル<br>フランソワ<br>（フランス）<br>フランス社会科学高等研究院・中韓日研究所<br>名誉研究統括者 | 2023.09.02<br>～<br>2023.10.31<br>（60日）<br>（短期） | 150 |
| | | | | 招へい・受入れ　計 ２件 | | 310 |

| | | |
|---|---|---|
| 研究者交流援助 | 合 計　７件 | 2,210 |

## (4) 2023年度 国際共同研究援助 採択者及び援助金額一覧

### 1．新　規

| No. | 氏　名 | 所属機関・職名 | 研　究　課　題 | 海外研究者グループ代表者 | 援助金額（万円） |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ムラヤ<br>村谷つかさ | 九　州　大　学<br>大学院芸術工学研究院<br>助　　教<br>（社会デザイン） | 性的マイノリティ高齢者の医療・介護環境に関する社会システムの構築：日本とスウェーデンにおける実態調査と国際比較 | リンネ大学<br>准教授<br>アンナ・ブラット<br>（スウェーデン） | 320 |
| 2 | キムラヨシヒロ<br>木村祥裕 | 東　北　大　学<br>大学院工学研究科<br>教　　授<br>（鋼構造） | 床スラブの潜在能力活用による高剛性・高耐力合成構造建築物の日欧統合型耐震性能評価法の確立 | ヴロツワフ工科大学<br>教授<br>ヴォイチェフ　ローレンス<br>（ポーランド） | 595 |
| 3 | イリョウ ミホ<br>井料美帆 | 名 古 屋 大 学<br>大学院環境学研究科<br>准　教　授<br>（交通工学） | 歩行者仮想空間実験を通じた道路構造・交通制御による革新的な安全対策の提案 | カタール大学<br>准教授<br>ワエル・アルハヤシーン<br>（カタール） | 575 |
| 4 | フクモト フミヨ<br>福本文代 | 山　梨　大　学<br>大学院総合研究部工学域<br>教　　授<br>（情報学） | 感染症を対象とした健康危機管理推進のための共有知識基盤の構築と活用 | 杭州電子科技大学<br>教授<br>ユ・ドンジン<br>（中国） | 540 |
| 5 | クロダ ケイスケ<br>黒田啓介 | 富 山 県 立 大 学<br>工　　学　　部<br>准　教　授<br>（環境工学） | ベナン共和国における化学的・微生物学的新興水質汚染の実態解明と都市雨水排水施設整備の影響評価 | アボメ・カラヴィ大学<br>准教授<br>メトグベ　ベルフリード　ジウエッシ<br>（ベナン） | 695 |
| 国際共同研究援助（新規）　　計５件 | | | | | 2,725 |

## (4) 2023年度 国際共同研究援助 採択者及び援助金額一覧

### 2．継　続

| No. | 氏　名 | 所属機関・職名 | 研　究　課　題 | 海外研究者グループ代表者 | 援助金額（万円） |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | イトウ マコト<br>伊藤 誠 | 筑波大学<br>システム情報系<br>教授<br>（リスク工学） | 時間的制約下のトリアージに関する判断主体の在り方に関する研究： 自動車の自動運転を例に | オールドドミニオン大学<br>准教授<br>山仁雄介(ﾔﾏﾆ ﾕｳｽｹ)<br>（アメリカ） | 450 |
| 2 | ヤマナヨシユキ<br>山名善之 | 東京理科大学<br>理工学部<br>教授<br>（建築史） | 旧仏領インドシナにおける施設建築の標準化に関する研究 | フランス国立科学研究センター　パリ建築・都市・社会研究所<br>研究員<br>エマニュエル・スリーズ<br>（フランス） | 450 |
| 3 | ヨシザワ ノゾム<br>吉澤 望 | 東京理科大学<br>理工学部<br>教授<br>（建築光環境） | 都市建造環境における建物外皮からの反射と潜在的グレアに関する研究 | ルツェルン大学<br>上級研究教授<br>ローランド・シュリーグル<br>（スイス） | 275 |
| 4 | アサヌマハルヒコ<br>浅沼春彦 | 金沢大学<br>理工研究域<br>助教<br>（振動工学） | 振動抑制と構造診断を可能にする新規機能構造の設計技術の開発 | ジョージア工科大学<br>教授<br>アルパー・エルターク<br>（アメリカ） | 360 |
| 5 | クロイシ<br>黒石いずみ | 青山学院大学<br>総合文化政策学部<br>教授<br>（都市建築理論） | 戦後の公共住宅計画における生活権思想の国際比較とその現代的意義についての研究 | デルフト工科大学<br>教授<br>カローラ・ハイン<br>（オランダ） | 435 |
| 6 | タカムラマサヒコ<br>高村雅彦 | 法政大学<br>江戸東京研究センター<br>センター長<br>（都市史） | Edo Castle Mission－日伊国際共同研究による江戸城CG復元プロジェクト | 考古民族国際研究センター<br>センター長<br>ダニエレ・ペトレラ<br>（イタリア） | 520 |
| | | | | 国際共同研究援助（継続）　計６件 | 2,490 |

| | | |
|---|---|---|
| 国際共同研究援助 | 合 計　１１件 | 5,215 |

## (5) 2023年度 国際研究集会援助採択者及び援助金額一覧

| No. | 会議名 | 期　間 | 開催地 | 申請者 | 援助金額(万円) |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 第21回日韓アジア未来フォーラム | 23.04.22<br>～<br>23.04.22 | 東京都 | 名古屋大学<br>経済学部<br>名誉教授　平川均 | 50 |
| 2 | 第11回 建築における空気質・換気・省エネルギーに関する国際会議 | 23.05.20<br>～<br>23.05.23 | 東京都 | 東京大学<br>技術研究所<br>教授　大岡龍三 | 50 |
| 3 | 第25 回プラズマ化学国際シンポジウム | 23.05.21<br>～<br>23.05.26 | 京都府 | 大阪大学大学院<br>工学研究科<br>教授　浜口 智志 | 50 |
| 4 | 第53回 IEEE 多値論理国際シンポジウム | 23.05.22<br>～<br>23.05.24 | 島根県 | 群馬大学大学院<br>理工学府<br>教授・弓仲康史 | 50 |
| 5 | 第8回国際臨床脳磁図学会 第38回日本生体磁気学会大会 合同学会 | 23.05.24<br>～<br>23.05.27 | 大阪府 | 大阪大学大学院<br>医学系研究科<br>特任教授　平田雅之 | 50 |
| 6 | 第11回分裂酵母国際学会 | 23.05.28<br>～<br>23.06.02 | 広島県 | 広島大学大学院<br>統合生命科学研究科<br>准教授・上野　勝 | 50 |
| 7 | 第23回 Group Decision and Negotiation国際会議(GDN 2023) | 23.06.11<br>～<br>23.06.15 | 東京都 | 東京大学大学院<br>工学系研究科<br>教授・堀田昌英 | 50 |
| 8 | 第24回教育のための人工知能の国際会議 | 23.07.03<br>～<br>23.07.07 | 東京都 | 電気通信大学大学院<br>情報理工学研究科<br>教授・植野真臣 | 50 |
| 9 | 第26回IUPAC化学熱力学国際会議 | 23.07.30<br>～<br>23.08.04 | 大阪府 | 筑波大学<br>数理物質系<br>教授・齋藤一弥 | 50 |
| 10 | 第14回記憶認知応用研究学会定期総会 | 23.08.09<br>～<br>23.08.12 | 愛知県 | 愛知大学<br>文学部<br>教授・井藤寛志 | 50 |
| 11 | 第29回IEEE組込みシステム・実時間システムと応用に関する国際会議 ならびに 第12回IEEE吹発メモリシステムと応用に関する国際会議 | 23.08.21<br>～<br>23.08.24 | 東京都 | 東京農工大学大学院<br>工学研究院<br>准教授・山田浩史 | 50 |
| 12 | 第6回非静力学モデルに関する国際ワークショップ | 23.08.31<br>～<br>23.09.02 | 北海道 | 北海道大学大学院<br>理学研究院<br>准教授・佐藤陽祐 | 50 |
| 13 | 第21回数学的モデリングと応用の指導に関する国際会議 | 23.09.10<br>～<br>23.09.15 | 兵庫県 | 横浜国立大学<br>教育学部<br>教授・池田敏和 | 50 |
| 14 | 第13回歴史的建造物の構造解析に関する国際会議 | 23.09.12<br>～<br>23.09.15 | 京都府 | 信州大学<br>工学部<br>准教授・遠藤洋平 | 50 |
| 15 | 建造物と石造文化財の塩類風化に関する国際会議・2023年アジア会議 | 23.09.20<br>～<br>23.09.22 | 奈良県 | 近畿大学<br>建築学部<br>教授・安福　勝 | 50 |

| No. | 会議名 | 期　間 | 開催地 | 申請者 | 援助金額（万円） |
|---|---|---|---|---|---|
| 16 | 第14回国際火災安全科学シンポジウム | 23.10.22<br>～<br>23.10.27 | 茨城県 | 東京大学大学院<br>工学系研究科<br>教授・土橋律 | 50 |
| 17 | 第9回東アジア環境社会学国際シンポジウム | 23.11.03<br>～<br>23.11.06 | 神奈川県 | 関東学院大学<br>社会学部<br>教授・湯浅陽一 | 50 |
| 18 | 非線形水波およびその関連波動現象に関する国際研究集会 | 23.11.06<br>～<br>23.11.10 | 神奈川県 | 神戸大学大学院<br>工学研究科<br>准教授・片岡　武 | 50 |
| 19 | 第10 回国際フォトクロミズムシンポジウム，ISOP2023 | 23.11.07<br>～<br>23.11.10 | 奈良県 | 奈良先端科学技術大学院大学<br>先端科学技術研究科<br>教授・河合　壯 | 50 |
| 20 | 環境調和型設計とインバースマニュファクチャリングに関する国際シンポジウム | 23.11.29<br>～<br>23.12.01 | 奈良県 | 大阪大学大学院<br>工学研究科<br>教授・小林英樹 | 50 |
| 国際研究集会　合計２０件 | | | | | 1,000 |

## (6) 2022年度 研究者交流援助 採択者及び援助金額一覧(再申請)

１．研究者海外派遣援助

該当なし

２．外国人研究者招へい援助

| No. | 推薦組織・機関 | 氏　名<br>所属機関・職名 | 研 究 課 題 | 招へい研究者 | 招へい期間<br>(申請時) | 招へい期間<br>(再申請) | 援助金額<br>(万円) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 大阪大学 | ヨコタ村上孝之(ムラカミ タカユキ)<br>大阪大学<br>人文学研究科<br>准教授 | 都市におけるコロナとの闘い「プライベートな空間は家族にとって現実的なシェルターなのか、空想的なのか」―現代映画・小説を基にした観察 | ラーニン・ボリス<br>(ロシア)<br>アダム・ミツケヴィッチ大学教授 | 22.03.31<br>～<br>22.06.28<br>(90日)<br>(短期) | 23.07.01<br>～<br>23.09.28<br>(90日)<br>(短期) | 183 |
| 招へい　計 1件 | | | | | | | 183 |

| | | |
|---|---|---|
| 2022年度研究者交流援助(再申請) | 計１件 | 183 |

## (7)2021・2022年度 国際研究集会援助 採択者及び援助金額一覧(再申請)

2021年度　　※一部2020年以前を含む

| No. | 会議名 | 期間<br>(申請時) | 期間<br>(再申請) | 開催地<br>(申請時) | 申請者 | 援助<br>金額<br>(万円) |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 第21回絶縁材料の照射効果に関する国際会議 | 21.08.29<br>～<br>09.03 | 23.09.03<br>～<br>09.08 | 福岡県 | 九州大学<br>教授 安田和弘 | 50 |
| 2 | 第7回ソフトマター国際会議 | 21.12.12<br>～<br>12.16 | 23.09.04<br>～<br>09.09 | 大阪府 | 京都大学<br>教授 山本量一 | 50 |
| 3 | 第26回イオンビーム分析(IBA)国際会議 | 21.10.09<br>～<br>10.15 | 23.10.07<br>～<br>10.13 | 富山県 | 京都大学<br>准教授 松尾二郎 | 50 |
| 4 | 計算化学の理論と応用国際会議2023 | 20.09.07<br>～<br>09.12 | 23.09.04<br>～<br>09.09 | 北海道 | 北海道大学<br>教授 武次徹也 | 50 |
| 5 | 人口減少都市シンポジウム2023 | 19.06.15<br>～06.23<br>のうち一日 | 23.06.18 | 東京都 | 横浜国立大学<br>准教授 矢吹剣一 | 50 |
| 2021年度国際研究集会(再申請)　計５件 | | | | | | 250 |

2022年度

| No. | 会議名 | 期間<br>(申請時) | 期間<br>(再申請) | 開催地<br>(申請時) | 申請者 | 援助<br>金額<br>(万円) |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 文化遺産防災シンポジウム（仮） | 22.09.20 | 23.09.22 | 京都府 | 立命館大学<br>教授 大窪健之 | 50 |
| 2 | 第10回太平洋ラジカル化学シンポジウム | 22.06.05<br>～<br>06.01 | 23.06.04<br>～<br>06.09 | 京都府 | 京都大学<br>教授 山子　茂 | 50 |
| 2022年度国際研究集会(再申請)　計２件 | | | | | | 100 |

## Ⅶ. 役員等一覧

理事（１０名）

（2023年3月31日現在）

| No. | 役職 | 常勤・非常勤 | 氏名 | 現職等 | 就任日 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 理事長 | 非常勤 | 鹿島　公子 | 理事長（代表理事） | 2020年12月23日<br>理事長(代表理事)<br>2021年1月20日 |
| 2 | 専務理事 | 常勤 | 小泉　博義 | 専務理事（代表理事） | 2022年6月8日 |
| 3 | 常務理事 | 常勤 | 上保　紀夫 | 常務理事 | 2017年 6月 7日 |
| 4 | 理事 | 非常勤 | 市橋　克典 | 鹿島建設(株)常務執行役員 | 2020年12月23日 |
| 5 | 理事 | 非常勤 | 奥　　正之 | (株)三井住友フィナンシャルグループ<br>名誉顧問 | 2019年12月1日 |
| 6 | 理事 | 非常勤 | 尾島　俊雄 | (一社)都市環境エネルギー協会理事長<br>早稲田大学名誉教授 | 2011年12月8日 |
| 7 | 理事 | 非常勤 | 濱田　政則 | (一財)アジア防災センター長<br>早稲田大学名誉教授 | 2013年 6月 6日 |
| 8 | 理事 | 非常勤 | 原島　文雄 | 首都大学東京名誉学長<br>東京大学名誉教授 | 2011年12月8日 |
| 9 | 理事 | 非常勤 | 春田　浩司 | (一財)建築コスト管理システム研究所理事長<br>(一社)公共建築協会会長 | 2022年6月8日 |
| 10 | 理事 | 非常勤 | 安岡　正人 | 東京大学名誉教授 | 2011年12月8日 |

監事（２名）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 監事 | 非常勤 | 秋山　　豪 | 元 鹿島建設(株)取締役専務 | 2011年12月8日 |
| 2 | 監事 | 非常勤 | 駿田　和彦 | 元 大和インベスター・リレーションズ(株)<br>代表取締役社長 | 2011年12月8日 |

評議員（１１名）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 評議員 | 非常勤 | 渥美伊都子 | (公財)渥美国際交流財団顧問 | 2011年10月3日 |
| 2 | 評議員 | 非常勤 | 石井　威望 | 東京大学名誉教授 | 2011年10月3日 |
| 3 | 評議員 | 非常勤 | 岡本　　章 | 前 専務理事（代表理事） | 2022年7月1日 |
| 4 | 評議員 | 非常勤 | 金子　　宏 | 元 鹿島建設(株)代表取締役副社長 | 2017年 6月 7日 |
| 5 | 評議員 | 非常勤 | 坂本　雄三 | 東京大学名誉教授 | 2011年10月3日 |
| 6 | 評議員 | 非常勤 | 中村　英夫 | 東京都市大学名誉総長<br>東京大学名誉教授 | 2011年10月3日 |
| 7 | 評議員 | 非常勤 | 長澤　　泰 | 東京大学名誉教授<br>工学院大学名誉教授 | 2011年10月3日 |
| 8 | 評議員 | 非常勤 | 長谷見雄二 | 早稲田大学名誉教授 | 2011年10月3日 |
| 9 | 評議員 | 非常勤 | 日端　康雄 | 慶應義塾大学名誉教授<br>(一財)再開発コーディネーター協会会長 | 2011年10月3日 |
| 10 | 評議員 | 非常勤 | 松尾　友矩 | 東洋大学顧問<br>東京大学名誉教授・東洋大学名誉教授 | 2011年10月3日 |
| 11 | 評議員 | 非常勤 | 村上　周三 | (一財)住宅･建築SDGs推進センター理事長<br>東京大学名誉教授 | 2011年10月3日 |

## Ⅷ. 附属明細書

2022年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項にて規定される「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、附属明細書は作成しない。